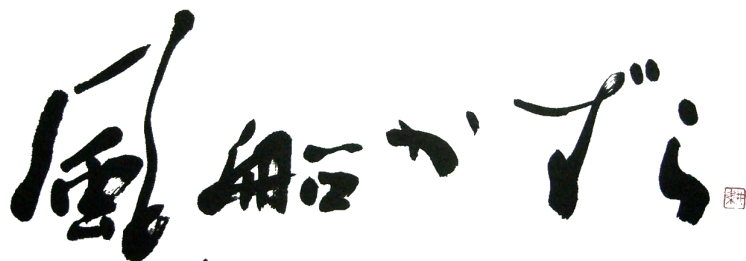


## 放送大学浜松同窓会



第7号

発行：放送大学浜松同窓会

編集：浜松事務局

発行責任者：仲塚とし子

発行：平成25年3月31日

題字は松下安延氏（雅号耕山）

seeds of heart

放送大学同窓会連合会 <http://rengokai.ouj-dosokai.net/>放送大学浜松同窓会 <http://hdosokai.web.fc2.com/index.html>浜松サテライトスペース <http://hamaouj.web.fc2.com/index.html>

## 「文化的資本」



放送大学客員教授 鈴木元子

2012年4月から客員教授に就任しました鈴木元子です。私の専門はアメリカ文学とアメリカ文化です。文学の方は、現在ソール・ペローの全小説を「階級」の観点から研究して本を執筆中ですが、これまで数冊の共著において、『風と共に去りぬ』論、『セールスマンの死』論、『緋文字』論、『雨の王ヘンダソン』論などを発表してきました。英米文化の方は、都市文化（ニューヨークやハーレム）、ゴスペル音楽（3月に共著近刊）、黒人教会、日系人移民等について書いてきました。静岡文化芸術大学では、映画を用いた英米文学の授業をしています。これについては、徐々に放送大学でも、面接授業やセミナーで取り上げていきたいと思っています。年齢は50代半ばで、息子が二人おります。

階級の話に戻りますが、アメリカ人思想家のハンナ・アレントは、アメリカに移民したユダヤ人を「意識的パリア」と金儲け主義の「成り上がり者」との2つのグループに分けました。前者には、ハイネ、ショーレム・アレイヘム、フランツ・カフカ、さらにはチャーリー・チャップリンなどの少数派が入っています。ユダヤ人の誇るあらゆる特性——ユダヤ的心情、人間性、ユーモア、公平無私な知性——は、パリアの資質だといひます。ソール・ペローも、成金富豪よりも、苦悩するシュレミールについて描いています。ペローは、「文化的資本」(The Cultural Capital)という言葉を用いていますが、学問や知識、文化・芸術を人間の人生を豊かにする資本として、経済資本より上に置いています。私も学生に聞かれて数えてみると、高校を卒業してから8つもの高等教育機関（大学、大学院等）で学びを続けてきたことに気づき、自分でも驚いています。私の恩師は90歳にして毎年3～4冊の本を出版していますので、私も頑張りたいと思っている今日この頃です。今後ともよろしくお願い致します。（2012年12月15日）

## 般若心経を考える

浜松同窓会会長 小倉康弘

昔から日本人の精神構造の奥深くに仏教思想が関係していると言われていています。私も日本人の一人として、仏教の基本を学びたくて、平成13年の2学期に「仏教思想」を選んで学習しました。

しかしながら、仏教についての釈迦の生涯・仏典・救済・思想史など様々な分野にわたって学習してみたものの、現在の我々が目にしている「お経」についてはなかなか詳しく分かりませんでしたし、僧侶が仏事で読む「お経」が理解できずにいました。このことについて、何か良い資料や解説書なる物はないだろうか？と気にしていました。

ところが、ふとした機会（平成23年9月）に或る書物を発見したのです。これは非常に分かりやすく、現実の社会に当てはめて解説してくれている、「般若心経」の解説書でした。

この書の始めの部分である「般若心経のこころ」について、一部をご紹介して皆様の参考にして戴ければと思います。

曰く、「般若心経」は、正式には「摩訶般若波羅蜜多心経」といい、その原本は、600巻もある膨大な「大般若波羅蜜多経」です。その中から教えのエキスをたった262文字におさめて、理論的に展開しているのが般若心経ですから、濃縮しすぎて理解しにくいのも当然でしょう。

《摩訶》とは、「素晴らしく勝れている」の意味で、《般若》は「知恵」、《波羅蜜多》は「目的達成」、《心経》は「究極の教え」と訳せましょうか。つまり『幸せになるための究極の教え』ということです。シンプルに、物事に執らわれずに、そして自分らしく悠々と生きていく方法を解き明かしています。だから多くの人々が読経したり写経したりするのです…。

近ごろ、仏教の教えは、とかく葬式の為とか僧侶の生活のため…のように考えられがちですが、お釈迦様の本当の教え（経典）は、まさに現実に生きている我々が生活する為の教えである…と実感したものです。

※参考文献 【ほっとする般若心経】文・野田大澄／書画・高木大宇：二玄社（2010）

## 懇親ウォーキング静岡・浜松のお誘い

藤枝・焼津方面 蓮華寺池公園ウォーキング

✿平成25年5月12日（日曜日） 雨天中止

✿10時 JR 藤枝駅 北口集合

✿持ち物 （お弁当・敷き物）

藤枝駅→バス（2番のりば220円）

⇒10:40 恋華寺池公園ウォーキング A 1.5km 平地コース B 2.5km コース or 自由散策  
C 3.5km 古墳山コース

⇒12:30 昼食・自由散策（郷土博物館・文学館）

⇒13:50 蓮華寺池公園入口集合→バス（220円）

⇒14:30 藤枝駅解散

⇒希望者のみ JRにて移動 焼津駅下車 『焼津小泉八雲記念館』見学（入場無料）

連絡先 参加は静岡学習センター事務局（055-989-1253）まで

# 会員紹介

本年度も多くの方が浜松同窓会に入会されました

名前	住所	名前	住所
鈴木 眞喜子	磐田市	仲塚 とし子	磐田市
安松 和男	浜松市中区	後藤 淑子	浜松市東区
小笠原 敏弘	浜松市中区	松下 安延	浜松市北区
大石 純子	浜松市中区	小倉 康弘	浜松市中区
萩原 利行	掛川市	岡本 康子	浜松市南区
古橋 達也	浜松市北区	小島 邦弘	浜松市南区

平成 22 年 11 月までの入会会員

山本 勝司	島田市	中村 岩子	浜松市西区
鈴木 正男	浜松市北区	鈴木 民江	浜松市浜北区
赤堀 庄司	掛川市	小松 武夫	浜松市浜北区
長嶋 孝行	御前崎市	馬淵 和美	浜松市中区
横田 典子	田原市	豊田 宣子	湖西市
鈴木 尚	豊橋市	藪下 径子	浜松市東区
井口 徳久	浜松市南区	澤木 宏子	浜松市中区
小宮山 ひろみ	磐田市	大島 充裕	浜松市西区
服部 昭子	袋井市	松本 健太郎	豊橋市
小田切 さつき	浜松市東区	河合 京子	浜松市中区
枡本 裕士	浜松市天竜区	鈴木 通代	浜松市西区
鈴木 朝子	浜松市中区	尾藤 登	浜松市東区

平成 23 年 12 月までの入会会員

松本幸子	磐田市	大坪秀雄	浜松市天竜区
藤城佐知子	田原市	本多佳子	浜松市南区
太田浩一	浜松市浜北区	林本和俊	浜松市中区
久米定夫	浜松市中区	小宮山眞知子	浜松市中区
平野正樹	浜松市浜北区	井口麗子	浜松市中区
朝比奈裕美	島田市	河合勝仁	浜松市中区
小林正孝	浜松市東区		

## 平成25年3月までの入会会員

柴田 健市	焼津市	平野 忠	愛知県新城市
坂本 政則	浜松市浜北区	鈴木 敏美	浜松市西区
紙谷 稔	浜松市浜北区	石塚 健一	浜松市中区
佐藤 剛	磐田市	早崎 浩子	島田市
伴 純雄	湖西市	佐藤 一	浜松市中区

## 「学生研修旅行に参加して」

仲塚 とし子



私たち学生は、安全でおいしい農産物の生産と環境保全との両立を目標にした教育研究を行っている、静岡大学農学部藤枝フィールドを訪れました。なだらかな丘陵地に水田・畑・茶園・果樹園や花木園があります。我が家のキューイやみかんと比べて、農園の果樹はなんとたわわに実っているのかと感心しながら、研究や管理が行き届いている事を実感しました。園内を歩いているとなにやら小動物のうんちらしき物が目につきます。動物もおいしい食べ物は、よくわかるようです。

研修の内容をよく確認して来なかったのが、ほんとうに初めての農業体験には、まったく戸惑うばかりでした。脱穀機を使っての脱穀では、籾殻が舞い上がる中で一粒も残さぬようにと、つい必死になって干した稲を機械に通し、米粒を確認しました。我が家でも米を収穫していますが、現代では何でも機械がやってくれ、一昔前の農家の人達、きっとお母さんの世代の人達の農作業は想像を絶するものであったらと推測するばかりです。

講師にイネの栽培暦を教えていただき、出穂期の肥料や収穫の最適期など、気を付けなければいけない時期が多少なりに理解できました。自分で脱穀・精米した米を持ち帰り、恵まれた温暖な気候と有数な水資源の静岡県の地形から収穫されたお米を、感謝しながらおいしくいただきました。

## 学生募集

放送大学では、夢を実現させるべく入学される方々を心から歓迎しています。

放送大学総合受付 ☎ 043-276-5111

FAX 情報サービス ☎ 043-211-8351

放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>



## 放送大学の式典歌について

小島 邦弘

先日放送大学の〇〇先生に、放送大学の儀式で、「君が代」合唱を提案してみました。先生の御意見は「君が代」は、戦前の軍国主義的な天皇の時代を思い出し愉快ではないとの、御意見でした。確かに、そう考えるのが世論の大勢でしょうが、君が代は天皇に固定せず、友達の君、恋人の君、親子兄弟の君その他、自分が大切に思う広い意味で解釈したらどうでしょうか。私は偏狭な日本主義者には批判的な見解を持っています。戦前の日本が世界の中心という、国家主義がいかにも、国内外に害を及ぼした事は理解していますが、敗戦後かなりの時間がたった今、戦後史の再考も必要ではないでしょうか。

どこの国でも、国歌は国の纏まりとして、大切にしています。オリンピックでアメリカの国歌は容認しながら日本の学校で「君が代」という、国歌を忌避し、逆に「君が代」に賛同しない教師を懲戒処分する両面で対立するのは、学校行事にそぐわない気がします。しかし、「君が代」を廃止し、「新国歌」を制定するという機運もないようで、中途半端な感じです。

以上の意見は、無論私見であり、皆様は放送大学の式典での君が代斉唱はどう思われますか。

以上

## 台湾に於ける「三字経」について

佐藤 一

中国に古くから伝わる、児童教育の教科書の一つに「三字経」がある。文字の形を覚え、正しい発音を教え、読み方を暗誦させる。そうして所謂中国の「読書人となる者の常識」を学ばせる為に、経典（＝古典）から引用して、三字一句。二句乃至八句を、韻を踏んだ一文として、全文 1,062 文字に纏め、宋末（12世紀）に作られた一冊である。

時代の変遷に伴い、追加・修正され、中華民国（1912年成立）になってから、修正された「章丙麟増訂三字経」1,416文字の物が、いまま台湾の書店で、「二十四孝」「千字文」「弟子規」「増広賢文」等を圧倒して、十数種並んでいる。

「三字経」の内容は、人格の修養・基本的常識・天文・地理・古典・歴史等、また苦学して成功した人物の紹介が記されている。

子供達は、「人之初＝レン・ツウ・ツ」「性本善＝シン・ベン・サン」「性相近＝シン・シャン・チエン」「習相遠＝シ・シャン・ユエン」と、三拍子に頭を振り振り、大きな声で歌うように発声する。私も之をテープで聞き、子供達と同様に発声する事により、カタカナ発音から離脱して、中国人と意思が疎通出来る様になった。

改めて「三字経」から、（1）物事の進捗の順序教えられた。歴史の本の読み方、古典の読む順序、などは学問だけでなく、製造業の作業管理・工程管理にも応用出来る。（2）孝について。「三字経」の中に「二十四孝」からの引用も有るが、親は子供を養うだけでなく、幼いうちから学習の習慣を躰け、怠ける子には将来を考慮した、愛情ある体罰を与える事もある。この様な一般家庭も着実に存在する。共和国となった中華民国は、こういう人たちに支えられているのである。

また「三字経」は日本にも伝わっていた、江戸時代に京都の杉本玉淵堂から出版されている。一般には親が書き写して、子供に教えていたようだ。日本では之をし点一二点をつけて漢文として読んでいた。浜松サテライトの本棚の辞書に一つに記載されている。

「三字経」とは関係ないが、中国には漢民族系中国人の他に、満州系・蒙古系・チベット系・ウイグル系・トルコ系等のほかに、多数の少数民族の存在がある。これ等の存在は、其の地方によって一様でないが。絶えず問題発生に配慮し、地方の事情を把握して、判断すべきである。

少なくとも中国語を習う者は、もっと中国人を知るべきであり、と同時に日本の歴史にも関心を持つべきと思われる。 終わり。

## 平成24年度 静岡浜松同窓会交流見学会

赤堀 庄司

バスで掛川城・高天神城・横須賀城を訪ねる城址見学会兼歴史勉強会に参加した。掛川駅で県西部の人達もバスに乗車し全員が揃ったところで改めて本多所長からご挨拶があった。最初に掛川城を訪れる。城に入り急な階段を手摺に頼り天守閣に登ると、城下の街並みと雨上がりの小笠山（砦がある）が一望でき、束の間お殿様気分になった。落合説明員から、この城は篤志家白木はなえさんから、お城復元の為に使って下さいと5億円の寄付を受け、それに市民や企業等からの寄付も加えた10億円余りで平成6年4月、日本初の木造天守閣として復元された、と説明があった。次に訪れた重要文化財二の丸御殿では、玄関から部屋に入る場合には、身分によっていろいろな決まり・制限・作法があること、お殿様の日常生活の一部を垣間見るような面白い話もあった。最近ここで映画撮影が行われた写真等の展示もあり興味深く見る事が出来た。楽しみの昼食はグランドホテルでのバイキング。次が今日の見学で重要な歴史の舞台となった高天神城見学。搦手門から城に至る急な坂道を登り始めたが傾斜が、だんだん強くなり大変だった。山頂には土塁が囲む曲輪の巧みな配置と山の峰には敵の進入を阻む掘割が所々にあって、戦場としての強固で実践的な城郭であったことが大石説明員の話で良く判った。この城には石垣がなく山全体が急斜面に囲まれていることから通路以外から攻め入ることが困難である事は理解できるが、食料が尽きるまでの長期の兵糧攻めには弱いことも事実だ。次の横須賀城は天竜川の自然石を積み上げた玉石垣が珍しい。築城の頃は、城の周りまで海が迫っていたが、宝永の大地震で土地が隆起してしまい、現在の海岸線は遥か遠くになってしまっていることに驚いた。歴史の話は所長、城の話は現地説明員から詳しく聴くことが出来て大変勉強になりました。心配された天気も回復し楽しい一日でした。



(放送大学同窓会連合会会報「公孫樹」第42号に掲載)

<http://rengokai.ouj-dosokai.net/>

こちらもぜひご覧ください！)

### 編集後記

会報発行にあたり、原稿をお寄せくださった皆様ありがとうございました。来年も同窓会の行事にご参加いただき、感想などをお寄せください。心からお待ちしています。

(事務局長 仲塚 とし子)